

大雪に対する国土交通省緊急発表 平成29年1月23日

- 24日にかけて、上空に強い寒気が流れ込む影響で、西日本の日本海側や北陸地方を中心に大雪となる所がある見込み。普段雪の少ない西日本の太平洋側や東海地方の平野部でも積雪のおそれ。
- 大雪による立ち往生等に警戒が必要です。
- 不要不急の外出は控える**とともに、やむを得ず**運転する場合には、冬用タイヤやチェーンの早めの装着**をお願いします。
- 大雪が予想される地方整備局においては、道路交通の確保ができる対応を24時間体制で行う予定です。

【1. 今後の気象の見通し】 23日15時40分時点

<大雪に警戒が必要な時間帯>

	23日		24日	
	夜	朝	昼	夜
北陸	←→			
東海	←→			
近畿	←→		→	
中国	←→		→	
四国	←→			

大雪: ←→

24日6時までの24時間に予想される降雪量は、いずれも山沿いの多い所で

北陸地方	80センチ
近畿地方	60センチ
中国地方	50センチ
東海地方	40センチ

24日18時までの24時間に予想される降雪量は、四国地方の山沿いの多い所で30センチ

※各地の気象台が発表する気象情報等に留意ください。最新の気象情報については、気象庁HPをご覧ください。
(<http://www.jma.go.jp/jma/index.html>)

【2. 過去の大雪における被災事例】

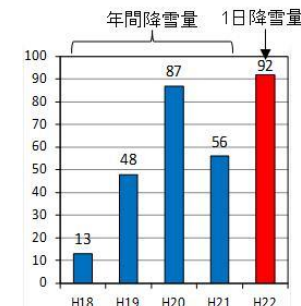
平成22年12月31日から平成23年1月1日にかけての大雪

<大雪のため、大規模な立ち往生が発生 約1,000台>

- 平成22年12月31日から平成23年1月1日にかけて、北日本から西日本の広い範囲で降雪、山陰地方でも、鳥取県で1日の降雪量が年間の降雪量を上回る90cm近くの大雪となりました。
- 国道9号でタンクローリーの立ち往生をきっかけに、約1,000台の大規模な立ち往生が発生しました。
- 車両の移動および通行止め解除に約2日を要しました。



立ち往生の状況



降雪量(赤崎テレメータ)



【3. 整備局など現場の対応状況】

- 各現場では、道路交通の確保のため、道路情報の提供や、大規模な立ち往生が発生する前の早い段階の通行止め、集中的な除雪作業、リエゾンの派遣などの対応を24時間体制で行う予定です。